- 〇 旭小学校
 - ・ 前期学校評価について
 - ・ 後期学校評価について

令和4年度美幌町立旭小学校

学校評価 一結果分析と改善に向けて一





前期学校評価 教育活動アンケート結果

7月に実施しました保護者アンケートへのご協力ありがとうございました。186名中113名の方からご解答いただきました。いただきましたご意見をもとに、後期の教育活動の改善に向けて引き続き努力してまいります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

1 児童アンケート

	光里ノンソート									
	質問項目	A (4)	B (3)	C (2)	D (1)	E	平均	前年 度比	AとBの割合(%)	
1	自分 で目標 を決 めて家庭学習 (宿題・自主 学習・読書)に取り組 んでいる。	69	58	30	8	8	3.1	-0.1	111111111111111111111111111111111111111	77
2	1 日 あたり、家庭学習 (読書 をのぞ	1年	2年	3年	4年	5年	6年		学年×10分以上の割合(%)	ó)
	く、宿題・自主学習・放課後学習 サポート等)をどのくらいしていますか。	12.7	27.8	40.8	37.4	31.2	47.7		1111111111111111	51
3	学校で学習した内容について、その日 のうちに復習している。	23	70	38	28	13	2.6		11111111111111111	58
4	本を読むことが楽しい。	111	38	10	11	3	3.5	+0.1	111111111111111111111111111111111111111	88
5	家で1日あたり10分以上読書している。	66	31	23	46	7	2.7		11111111111111111	58
6	学習ルール(学習規律)を意識して学 習に取り組んでいる。	81	61	17	6	9	3.3	+0.1	111111111111111111111111111111111111111	86
7	学校の授業はわかりやすい。	113	46	11	3	1	3.6	±0	111111111111111111111111111111111111111	92
8	学校での学習でわかったこと、できるようになったことが増えた。	132	32	3	5	1	3.7		111111111111111111111111111111111111111	95
9	授業では、課題に対して自分で考え、 自分から取り組んでいる。	66	73	27	3	5	3.2		111111111111111111111111111111111111111	82
10	授業では、自分の考えを深めたり、考 えをまとめることができている。	56	84	25	3	6	3.1		111111111111111111111111111111111111111	83
11	友だちを大切にして、なかよくしてい る。	142	23	6	0	3	3.8	±0	111111111111111111111111111111111111111	96
12	学校での生活は楽しい。	121	30	14	6	2	3.6	±0	111111111111111111111111111111111111111	88
13	学級の当番や係活動、掃除をすすんで やっている。	127	37	7	1	2	3.7	+0.1	111111111111111111111111111111111111111	95
14	運動や体を動かす遊びをすることが楽しい。	134	23	8	6	3	3.7	+0.1	111111111111111111111111111111111111111	92
15	放課後や休日に運動したり体を動かし て遊んでいる。	111	29	14	13	7	3.4		111111111111111111111111111111111111111	84
16	今よりも体育の授業や運動ができるよ うになりたい。	144	16	5	5	4	3.8			94
17	元気にあいさつしている。	84	65	15	6	4	3.3	-0.1	111111111111111111111111111111111111111	88
18	自分から進んでいろいろな活動に取り 組んでいる。	69	70	26	4	4	3.2			82
19	自分でやると決めたことは、やりとげよ うとしている。	97	50	15	8	4	3.4		111111111111111111111111111111111111111	86
20	将来の夢や目標をもっている。	114	29	11	11	8	3.5		111111111111111111111111111111111111111	87
21	人がこまっているときは、進んで助けて いる。	95	66	5	4	4	3.5		111111111111111111111111111111111111111	95
22	人の役に立つ人間になりたい。	136	28	5	1	4	3.8		111111111111111111111111111111111111111	96
23	自分にはよいところがあると思う。	66	51	21	15	21	3.1	+0.2	111111111111111111111111111111111111111	76
24	先生は自分のがんばりをほめてくれ る。	101	44	9	8	11	3.5	±0		90
						_				

2 保護者アンケート

	質問項目	A (4)	B (3)	C (2)	D (1)	E	平均	前年度比	AとBの割合(%)	
	毎日、家庭学習(宿題・自主学習・読 書)に取り組んでいる。	49	48	15	1	0	3.3	+0.3		86
2	読書に親しむ習慣が身に付いている。	15	35	47	16	0	2.4	-0.1		44
	「学校の授業は分かりやすい」と言っている。	34	55	9	1	14	3.2	±0		90
	学校での学習でわかったこと、できるようになったことが増えている。	55	50	6	1	1	3.4			94
5	思いやりをもって生活している。	45	63	2	1	2	3.4	+0.2		97
6	学校生活を楽しんでいる。	75	32	6	0	0	3.6	+0.1		95
7	子どもは、いろいろなことに自分から進んで行動している。	36	57	18	1	1	3.1			83
8	家庭では進んでお手伝いをしている。	16	66	25	5	1	2.8	-0.1	111111111111111111111111111111111111111	73
9	健康に気を配り、運動や遊びに興味を 持って取り組んでいる。	43	57	11	2	0	3.2	±0		88
10	放課後や休日に運動したり、体を動か すことが多い。	49	44	17	3	0	3.2			82
11	学校・保護者・地域が連携して子どもの体力向上のための環境づくりができて	25	45	19	2	22	3.0		111111111111111111111111111111111111111	77
12	旭小の子は、自分から挨拶することができている。	35	49	10	2	17	3.2	+0.1	111111111111111111111111111111111111111	88
13	生徒指導・学習指導などにおいて、家 庭と学校の協力関係が築かれている。	39	43	9	1	21	3.3	±0	111111111111111111111111111111111111111	89
14	学校生活や学校行事等で子供が活躍 する場面がたくさんある。	45	49	9	1	9	3.3		111111111111111111111111111111111111111	90
15	コロナ禍で様々な制限がある中、学校は、行 事や教育活動を工夫して実施している。	68	35	6	0	4	3.6	+0.3	111111111111111111111111111111111111111	94
	平均時間	1年	2年	3年	4年	5年	6年		全校で1日2時間以内の割合(%))
16	1日平均、テレビやゲーム・インターネットなどは、どのくらい見ていますか。	98分	120分	122分	152分	153分	183分		1111111111111111111	65
17	1日平均、家でどのくらい勉強をしてい								全校で学年×10分以上している割	合(%)
	ますか。	21分	36分	36分	37分	32分	45分		11111111111111111	58
18	1日平均、家でどのくらい本を読んでい								全校で1日10分以上の読書をしている書	引合(%)
	ますか。	5分	8分	13分	9分	9分	16分			64

後期に向けた改善の方向性

1 学期は落ち着いた感染状況の中で、教育活動を行うことができました。アンケートからは、子供たちが令和 4 年度旭小重点教育目標である「ふみだす・やりぬく・ふりかえる」を合い言葉に、目標を決めて学習をがんばったり、友達を思いやったりして、学校生活を楽しんでいる様子が伺えました。

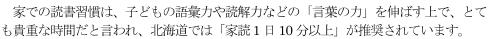
また、「コロナ禍の行事・教育活動の工夫」(保護者 No. 15)では、昨年度+0.3の評価をいただきました。、教育活動の制限はありますが、保護者・地域の皆様のご理解とご協力があってこその結果と捉えています。

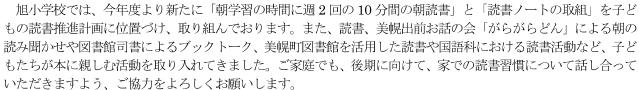
児童アンケート・保護者アンケートから見えてくる課題は、これまでの取組で改善傾向も見られていますが、家庭での「読書・家庭学習の習慣づくり」と「自己有用感・自尊感情」です。

後期に向けて、改善に向けた検証を行い、引き続き家庭との連携をして、子どもの成長の姿として表れるよう取り組んでまいります。いただきました貴重なご意見は、学校で検討し、後期に向けて改善してまいります。ありがとうございました。

言葉の力は、家での読書習慣で育もう

児童アンケートでは、約88%が「本を読むのが楽しい」と回答したものの、保護者アンケートの「読書に親しむ習慣が身に付いている」では、約44%の回答にとどまりました。また、近年では、ゲームやSNSなどをタブレットで長時間視聴する時間も増えており、家読平均時間が減る要因となっています。





学校での学習内容は、家庭学習で定着させよう

児童アンケートでは、約7.7%が「自分で目標を決めて家庭学習に取り組んでいる」と回答したものの、学習時間については、「学年×1.0分」以上の学習をしている割合は、重点課題となっております。

家庭学習の習慣は、学校で学んだ学力を定着する上で、とても重要な時間です。中学校・高校への進学を考えた時、低学年のうちから「当たり前の習慣」として身に付けておくことがとても大切です。北海道では、「学年×10分+10分以上の家庭学習」が推奨されています。

旭小学校では、一昨年度から学力向上委員会で検討を重ね、子どもが主体的に取り組む家庭学習の在り方や子どもへの意識付け、小中との連携など、各学年が工夫を重ねながら取り組んでまいりました。

ご家庭でも、後期に向けて、「学年×10分以上」の習慣づくりについて話し合っていただきますよう、ご協力をよろしくお願いします。

低	丸をつけながらほめる	「すごいね!」「できたね!」「よくがんばったね!」
中	自分から机に向かったらほめる	「自分から始めてえらいね!」「ひとりで最後までできたね!」
高	わからないことを聞きやすい親になる	「辞書で調べてみたら」「自分で調べたの?すごい!」

家庭学習の習慣づくりは、保護者の関わり方が重要です。子どもの発達 段階に応じた関わり方が「勉強は楽しい。もっとやってみたい」という意 欲を育てることにつながります。

低学年では、見守りながら親子で一緒に学習する姿勢を、中学年では、 少しだけ関わり子どもを後押ししながら、自分から進んで学習する姿勢 を、高学年では、自分で計画を立てて自発的に学習し、自分で考えなが ら学力を伸ばす姿勢を育てていくことが大切です。



自己有用感・自尊感情は、認めて育てよう

友だちと一緒に遊んだ時に「楽しい」と感じたり、「誰かに必要とされている」と自分の存在価値を感じたりする感覚のことを「自己有用感」と言います。また、「自分にはよいところがある」「自分のことが大切だ」という感覚を「自尊感情」と言います。

これらが高い子は、何事に対しても積極的に取り組み、つまずいたとしても、自分を受け入れ、他者も受け入れていくことができるようになると言われています。



学校では、行事や学級活動、児童会活動、学習活動の際に、「ふみだす・やりぬく・ふりかえる」を合い言葉に自己目標立てて最後まで頑張る経験や振り返って相手や自分のことを考える場面をつくり、自己有用感や自尊感情の育成を目指しています。昨年度から改善傾向も見られますが、まだ実感できていない子も多くいますので、「自分の持ち味やよいところ」「仲間から必要とされていること」「自分が誰かの役に立っていること」を実感できるように実践を積み重ねて改善してまいります。ご家庭では、「がんばったね」だけではなく、子どもなりのこだわりで努力したり工夫したりしたことを認めたり、お手伝いの場面で「ありがとう。助かったよ。」と感謝の気持ちを伝えるなど、1人1人のがんばりをきちんと認め、次につながるようにしていただけたらと思います。

保護者アンケートに寄せられた意見から

保護者アンケートに、貴重なご意見を多くいただき、ありがとうございました。いただきましたご意見をもとに、 今後の学校改善に向けて検討を重ねてまいります。

- 暑い夏の日にマスクを付けて学習し、熱中症にならないか大変心配。エアコンを設置して夏の教室・学習環境を整えてほしい。
- A 全国的に記録的な猛暑が続いており、体育や屋外活動での子どもの熱中症のニュースが後を絶ちません。子どもは体温調節機能が十分に発達しておらず熱中症の危険が高いため、全国的には教室にクーラーを設置する自治体が増えておりますが、北海道の自治体は設置率が低い状況です。旭小学校でも数年前より美幌町に要望を上げておりますが、実現しておりません。現在の熱中症対策としては、文部科学省から示された熱中症防止に関する通知に基に、こまめな水分補給や休憩、熱中症アラートによる教育活動の制限、扇風機の設置等を行っております。エアコン設置についても引き続き予算要望を行ってまいります。
- コロナ禍により、保護者と先生の間のコミュニケーションが以前と比べ不足している。コロナ禍だからこそ、 家族が求めている適切な情報や連絡をもう少し想像力を持って現実的に発信してほしい。
- A 教育活動の多くを再開できるようになったものの、まだまだ先の見通せない状況で、様々な変更や制限の中で教育活動を行っていかなければなりません。今後も丁寧な情報発信に心がけてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。
- 5・6年生の遠足で、バスを利用したと聞いた。「みんなで遠くまで頑張って歩いた」という遠足の達成感が 感じられなくなるのではないかと思う。
- A 昨年度の遠足の反省から、歩く距離と現地での滞在時間について検討し、今年度は、高学年で約2キロ分バスを利用して、現地での滞在時間を約40分間確保し余裕をもたせました。

	低学年	中学年	高学年
昨年度まで	約4キロ	約6キロ	約10キロ
今年度	約4キロ	約6キロ	約8キロ

遠足は、「自然に親しむとともに、友達との人間関係や学級での集団活動などの望ましい体験を積むこと」という学校行事の目的を達成できるように計画を立てております。いただきましたご意見を基に、遠足の在り方について今後も検討を重ねてまいります。

- 水泳学習の実施について検討してほしい。
- A 今年度の美幌町の小中学校の水泳授業については、感染リスクの高い着替え等の場面での安全確保が課題となり中止の判断となりました。来年度に向けて、学校プール施設の更衣室の換気やロッカー間の距離など、 実施に向けて検討してまいります。
- ●学習発表会、運動会はぜひ、祖父母も観覧出来る様に検討してほしい。
- A 美幌町小中学校の学習発表会や運動会などの大きな学校行事については、美幌町教育委員会で開催の方針を 決定しております。今年度は、運動会は低学年・高学年の2部制、学芸会は各学年別の6部制の分散開催な どの方策で感染リスクを下げて計画を立てました。今後の感染拡大状況と文部科学省から示される行動制限 については、まだ先の見通せない状況ではありますが、より多くの方に子どもたちの頑張りを参観していた だけるよう、引き続き検討してまいります。
- スキーかスケート、どちらかにしてほしい。経済的負担が大きい。
- A 美幌町では、冬の代表的なスポーツであるスキー・スケートの両方に取り組む方針になっており、旭小ではスキーを6年間で、スケートを4年間で、子どもたちがしっかりと身に付けられるように教育計画を立てて実施しております。卒業生からは「美中ではスキー授業がなかったが、高校のスキー授業で小学校の経験が役に立った」との声もいただいております。ご指摘の通りご負担をおかけしてしまいますが、技能をしっかり身に付けるために実施しておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

後期学校評価 教育活動アンケート結果

12月に実施しました教育活動アンケートへのご協力をいただき誠にありがとうございました。保護者アンケートは186名中115名の方からご解答いただきました。

課題は、「家庭学習・読書の習慣づくり」と「自己肯定感・有用感」です。特に、「読書・家庭学習」については、小学校と中学校の9年間で「自ら学ぶ子ども」を育てるため、美幌中学校・家庭と連携を深め、子どもの成長の姿として表れるよう取り組んでまいります。

教育活動の改善に向けて努力してまいりますので、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

1 児童アンケート

							_		
質問項目	A (4)	B (3)	C (2)	D (1)	Е	平均	前期 比	AとBの割合(%)	
	63	69	20	6	4	3.2	+0.1	111111111111111111111111111111111111111	84
1 日 あたり、家庭学習(宿題・自主学	1年	2年	3年	4年	5年	6年		学年×10分以上の割合(%)	
習・放課後学習 サポート等)をどのくら いしていますか。	13.9	42.6	47.9	32.6	31.9	42.6			50
学校で学習した内容について、その日 のうちに復習している。	28	67	42	19	6	2.7	+0.1		61
本を読むことが楽しい。	105	35	11	9	2	3.5	±0		88
家で1日あたり10分以上読書している。	57	36	27	34	8	2.8	+0.1		60
学習ルール(学習規律)を意識して学 習に取り組んでいる。	67	65	13	12	5	3.2	-0.1	111111111111111111111111111111111111111	84
学校の授業はわかりやすい。	115	32	10	1	4	3.7	+0.1		93
	128	23	6	2	3	3.7	±0	111111111111111111111111111111111111111	95
	62	73	18	4	5	3.2	±0		86
授業では、自分の考えを深めたり、考	66	65	19	7	5	3.2	+0.1		83
友だちを大切にして、なかよくしてい	128	27	4	0	3	3.8	±0	111111111111111111111111111111111111111	97
	115	31	9	3	4	3.6	±0		92
	109	40	5	3	5	3.6	-0.1		95
	132	15	8	3	4	3.7	±0		93
放課後や休日に運動したり体を動かし て遊んでいる。	90	38	21	10	3	3.3	-0.1		81
	129	19	9	0	5	3.8	±0		94
元気にあいさつしている。	69	71	15	3	4	3.3	±0		89
組んでいる。	62	68	21	6	5	3.2	±0	111111111111111111111111111111111111111	83
自分でやると決めたことは、やりとげよ うとしている。	82	54	19	4	3	3.3	+0.1		86
将来の夢や目標をもっている。	101	31	14	8	8	3.5	±0	111111111111111111111111111111111111111	86
	79	68	9	0	6	3.4	-0.1	111111111111111111111111111111111111111	94
人の役に立つ人間になりたい。	135	18	5	0	4	3.8	±0	111111111111111111111111111111111111111	97
自分にはよいところがあると思う。	51	55	20	17	19	3.0	-0.1		74
先生は自分のがんばりをほめてくれ る。	115	30	7	6	4	3.6	+0.1	111111111111111111111111111111111111111	92
	自分で目標を決めて家庭学習(宿題・自主学習・読書)に取り組んでいる。 1 日 あたり、家庭学習(宿題・自主学習・放課後学習 サポート等)をどのくらいしていますか。 学校で学習した内容について、その日のうちに復習している。 本を読むことが楽しい。 家で1日あたり10分以上読書している。 学習ルール(学習規律)を意識して学習に取り組んでいる。学習にないの学習でわかったこと、できるようになったことが増えた。 接業では、取り組んでいる。表をまとめることができまとめることができまとめることができまとめることが楽しい。学校での生活は楽しい。学級の当番や係活動、掃除をすすんでやっている。学校での生活は楽しい。 学級の当番や係活動、掃除をすすんでやって遊んでいる。 でもの当なりたいる。 つよりも体育の授業や運動ができるようになりたい。 元気にあいさつしている。 自分から進んでいろいろな活動に取り組んでいる。 自分からさんでいると決めたことは、やりとげようとしている。 日分になりたい。 人がこまっているときは、進んで助けている。 日分にはよいところがあると思う。 先生は自分のがんばりをほめてくれ	日	日の	日前項目	質問項目	質問項目	質問項目	日の項目	長日の項目

2 保護者アンケート

	質問項目	Α (1)	В	C	D	Е	平均	前期	AとBの割合(%)	
-	毎日、家庭学習(宿題·自主学習·読	(4)	(3)	(2)	(1)			比	1	
	書)に取り組んでいる。	45	54	14	2	0	3.2	-0.1		86
	読書に親しむ習慣が身に付いている。	13	33	46	23	0	2.3	-0.1		40
	「学校の授業は分かりやすい」と言って いる。	34	66	3	2	10	3.3	+0.1		95
	学校での学習でわかったこと、できるようになったことが増えている。	49	60	2	1	3	3.4	±0		97
5	思いやりをもって生活している。	42	65	5	0	3	3.3	-0.1		96
6	学校生活を楽しんでいる。	61	41	12	0	1	3.4	-0.2		89
7	子どもは、いろいろなことに自分から進 んで行動している。	26	67	22	0	0	3.0	-0.1	111111111111111111111111111111111111111	81
8	家庭では進んでお手伝いをしている。	23	55	33	3	1	2.9	-0.1	111111111111111111111111111111111111111	68
9	健康に気を配り、運動や遊びに興味を 持って取り組んでいる。	33	63	17	2	0	3.1	-0.1		83
10	放課後や休日に運動したり、体を動か すことが多い。	31	41	40	3	0	2.9	-0.3	111111111111111111	63
11	学校・保護者・地域が連携して子どもの体力向上のための環境づくりができている。	18	54	22	2	19	2.9	-0.1		75
12	旭小の子は、自分から挨拶することができている。	27	68	7	1	12	3.2	±0		92
13	生徒指導・学習指導などにおいて、家庭と学校の協力関係が築かれている。	34	60	7	1	13	3.2	-0.1		92
	学校生活や学校行事等で子供が活躍 する場面がたくさんある。	49	54	5	0	7	3.4	+0.1		95
15	コロナ禍で様々な制限がある中、学校は、行 事や教育活動を工夫して実施している。	70	39	3	0	3	3.6	±0		97
	平均時間	1年	2年	3年	4年	5年	6年		全校で1日2時間以内の割合(%))
16	1日平均、テレビやゲーム・インターネットなど は、どのくらい見ていますか。	129分	123分	120分	157分	151分	162分		111111111111111111111111111111111111111	64
17	1日平均、家でどのくらい勉強をしてい								全校で学年×10分以上している割	合(%)
	ますか。	27分	41分	38分	29分	35分	44分			60
18	1日平均、家でどのくらい本を読んでい								全校で1日10分以上の読書をしている書	引合(%)
	ますか。	6分	7分	10分	9分	5分	12分			52

【保護者から寄せられたご意見・ご要望】

Q ランドセルが重く疲弊している。 持ち帰りは家庭学習等のための最小限にすることが望ましい。

A 数年前より旭小では、教科数が増える3~6年生で家庭学習に影響のない教科書や資料等を各自のロッカー等に保管する「置き勉」に取り組んでおります。今後はICT 端末を日常的に持ち帰る機会が増えることも想定しており、ますますランドセルが重くなることでの体への負担が心配されます。他の市町村の取組等も参考に、旭小の「置き勉」の在り方を検討してまいります。

Q スケート・スキーはレンタルでも負担が大きい。授業回数も少なく、反対の声が上がるのではないか。

A 旭小では技術がしっかり身に付けられるようにスキーを6年間、スケートを4年間で計画を立てております。スキー場の受け入れやスクールバスの運行体制、体育の年間授業時数の関係でこれ以上増やすことは難しいですが、美幌町教育委員会と検討してまいりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

Q 掃除の反省会で先生を待つため帰りが遅くなると聞いた。

A 掃除区域によって担任以外の教諭が担当しているため、遅くなってしまったことがありました。担当不在 の場合の対応を校内で確認してまいります。

教育活動アンケート結果から見える改善の視点

家庭での家庭学習・読書の習慣づくりのために

家庭学習の習慣は、学校で学んだ学習内容を身に付けるうえで、欠かせない 習慣です。家庭学習の習慣づくりのためには、お家の方の関わり方がたいへん 重要だといわれています。子どもの発達段階に応じた関わり方が「勉強は楽し い。もっとやってみたい」という意欲を育てることにつながります。

低学年では、お家の方が見守りながら、親子で一緒に学習する姿勢を、中学年では、お家の方が少しだけ関わり、子どもを後押ししながら、自分から進んで学習する姿勢を、高学年では、自分で計画を立てて自発的に学習し、自分で考えながら学力を伸ばす姿勢を育てていくことが大切です。



低	丸をつけながらほめる	「すごいね!」 「できたね!」 「よくがんばったね!」
中	自分から机に向かったらほめる	「自分から始めてえらいね!」「ひとりで最後までできたね!」
高	わからないことを聞きやすい親になる	「辞書で調べてみたら」「自分で調べたの?すごい!」



北海道では「家読(家での1日10分以上の読書)」が推奨され、語彙力や読解力などの「言葉の力」を伸ばすのに欠かせない時間です。また、家族で読んだ本について話し合うことでコミュニケーションを深めることもできます。

家読の習慣づくりのきっかけとして、家族みんなで、テレビやゲーム、SNSから離れ、1日10分の読書の時間を設けて、楽しんでみてください。

自己有用感を高めるために

学校では、友だちから感謝されたり、クラスのためになることをして認められたりする経験を積み重ねなれるように工夫しながら取組を進めています。



A:お子さんとの様々な「関わり」を大切にしてください。

家族からほめられていると感じている子どもの方が、自己有用感が高いといわれています。勉強やスポーツなどの習い事はもちろん、自宅でのお手伝いなど、生活の中の何気ないところでも、子どもが頑張っていることや努力したことを「こんなふうに頑張ったんだね」と認めてあげることが大切です。



小学生 中学生 高校生

- ・子どもがほめてほしいと思っていることをほめる。
- ・子どもが話を聞いてほしいときに話を聞く。
- ・子どもに、学校でどんな勉強をしているのか聞く。
- ・子どもと、将来のことについて話をする。